

「A」次の文の(訳)の「」に入る語句として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

1 なでぶ、かかるすき歩きをして、かくわびしきめを見るらむと、思へどかひなし。(大和物語)

(訳) 「」、「」、このような色事を求める道楽歩きをして、このようにつらいめをみるのだろうと、思うけれどそのかいもない。

①本当に ②結局 ③あれほど ④どうして

2 音に聞くと、見る時とは、何事も変はるものなり。(徒然草)

(訳) 「」のと、(実際に) 見る時とは、どんな事も違っているものだ。

①話だけ聞く ②うわさに聞く ③人から聞く ④昔から聞く

3 なにか射る。な射そ。な射そ。(大鏡)

(訳) 「」 「射るのか(いや、射る必要はない)。射るな。射るな。

①やはり ②どうして ③なにが ④そんなに

4 いざたまへ、出雲拝みに。(徒然草)

(訳) 「」。「」。出雲(神社)を参拝しに。

①さあ、一緒にいらつしやい ②さあ、行ってください

③さあ、どうしましょうか ④さあ、いつものように

5 奈良坂にて人にとられなばいかげむ。(更級日記)

(訳) 奈良坂で人に捕まりでもしたら「」。

①当然だろうか ②意外だろうか ③なぜだろうか ④どうしようか

6 むなしう帰り参りたらんは、なかなか参らざらんよりあしかるべし。(平家物語)

(訳) (成果もなく) むなく(帝のもとへ) 帰参したとしたら、「」 「帰参しないようなのより悪いだろう。

①まったく ②おそらく ③かえって ④すぐに

7 そのころほひより、例ならず悩みわたらせ給ふ。(源氏物語)

(訳) そのころから、「」 「ずっと病気でいらつしやる。

①当然のように ②言うまでもなく ③いつものようでなく ④今のよう

8 さるべき人は、とうより御心魂のたけく、御守もこはきなめりとおぼえはべるは。(大鏡)

(訳) 「」 「人は、早くから胆力が強く、神仏のご加護も強いようだと思われますよ。

①立派な ②普通の ③昔の ④頼れる

「B」次の文の(訳)の「」に入る語句を答えよ。

9 祇王もとより思ひまうけたる道なれども、さすがに昨日今日とは思ひよらず。(平家物語)

(訳) 祇王は以前から覚悟していたことではあるが、「」 「昨日今日(のこと)とは思ひもよらない。

9 「」

10 大人になり給ひて後は、ありしやうに御簾の内にも入れ給はず。(源氏物語)

(訳) (光源氏が) 大人におなりになってからは、「(帝は)」 「ように(藤壺の女御の) 御簾の中にもお

入れにならない。

10 「」

11 例のいと忍びておはしたり。(源氏物語)

(訳) 「」 「たいそうこつそりと人目を避けていらつしやった。

11 「」

12 淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたる例なし。(方丈記)

(訳) (川の流れの) 淀みに浮かぶ泡は、「」 「消え(また)」 「生じて、いつまでも(そのまま)

とどまっている例はない。

12 「」

解答

【新三年生用】 古文単語883訂版 P 144 S P 151

- 1 「④」
- 2 「②」
- 3 「②」
- 4 「①」
- 5 「④」
- 6 「③」
- 7 「③」
- 8 「①」
- 9 「そうはいつでもやはり」
- 10 「かつての」
- 11 「いつものように」
- 12 「一方では」